

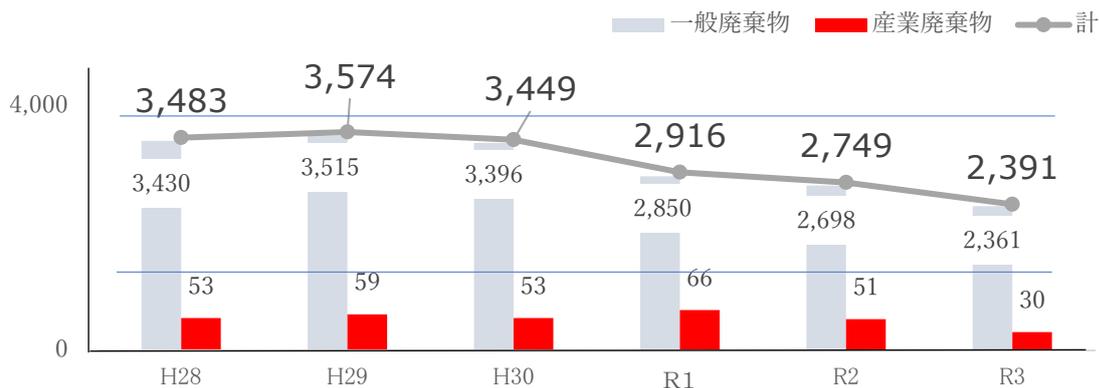
# 廃棄物不法投棄及び野外焼却発見の状況

令和4年（2022年）8月1日更新

## 1 不法投棄の発見状況

一般廃棄物の発見件数は、平成30年度以降、減少傾向で推移しています。

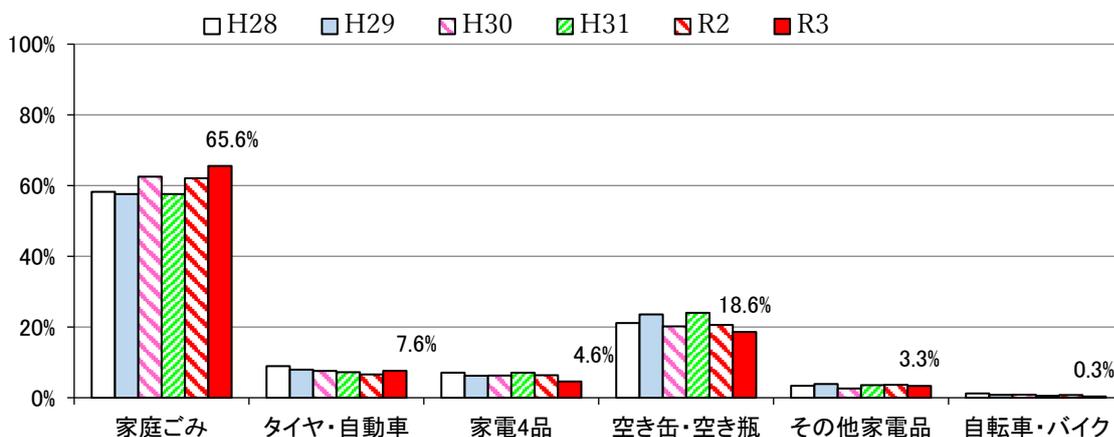
また、令和3年度における不法投棄発見件数の全2,391件のうち一般廃棄物は2,361件であり、全体の約98%を占めています。



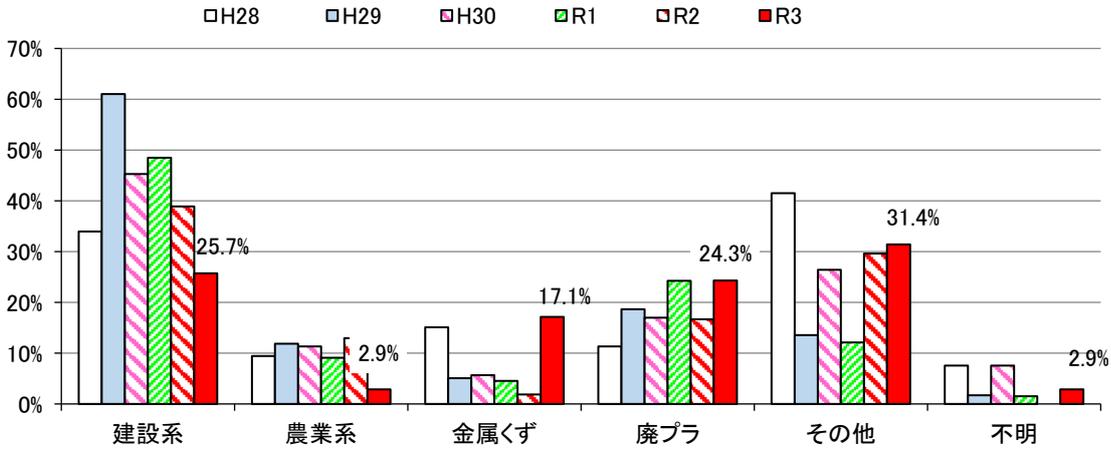
区分	H28	H29	H30	R1	R2	R3
一般廃棄物	3,430	3,515	3,396	2,850	2,698	2,361
産業廃棄物	53	59	53	66	51	30
計	3,483	3,574	3,449	2,916	2,749	2,391

## 2 不法投棄廃棄物の種類（構成比）

一般廃棄物では、例年、家庭ごみの不法投棄の割合が多く占めています。

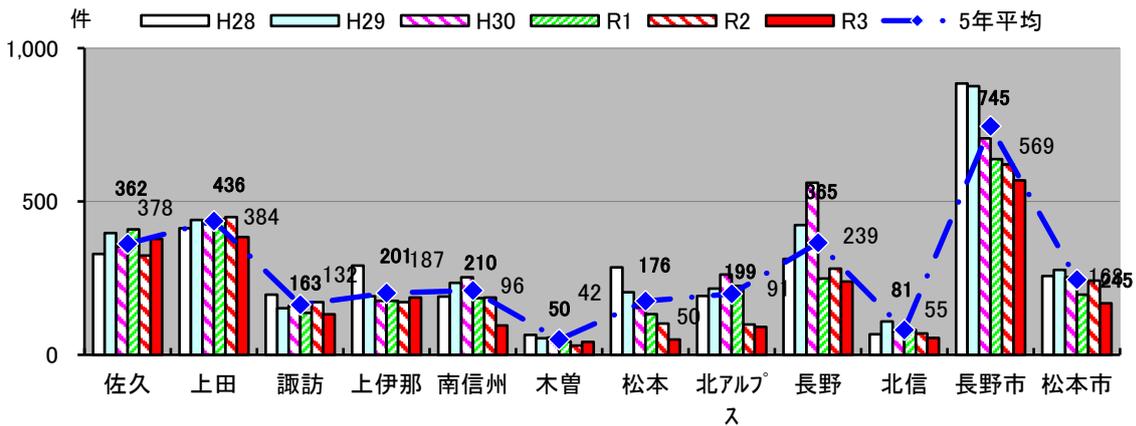


産業廃棄物では、建設系廃棄物の割合が高い傾向にありましたが、最近ではその他（混合廃棄物等）の発見も多くなっています。



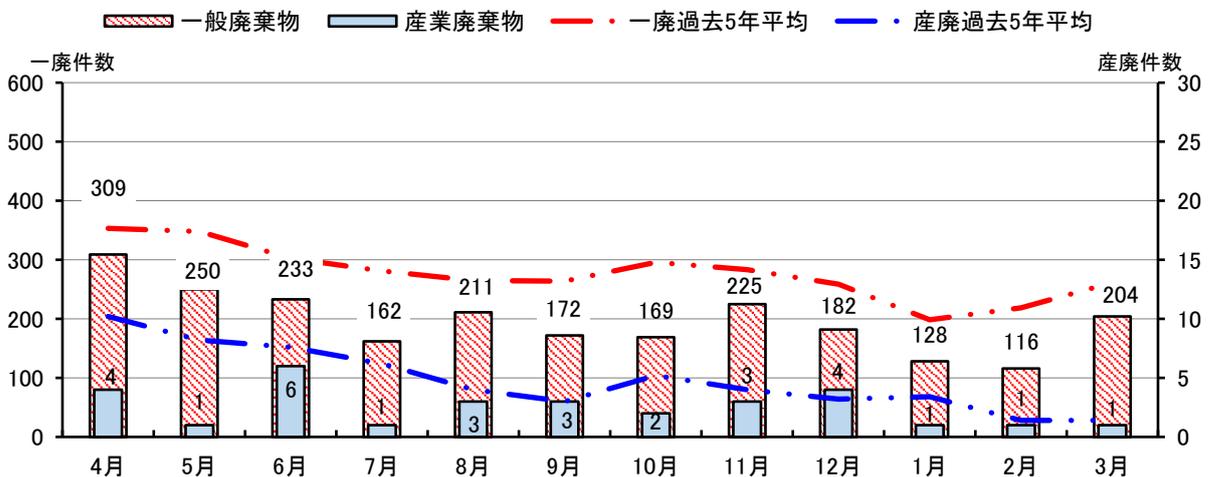
### 3 不法投棄の地域別状況

不法投棄の発見は長野市が最も多く、続いて上田地域振興局、佐久地域振興局の順になります。



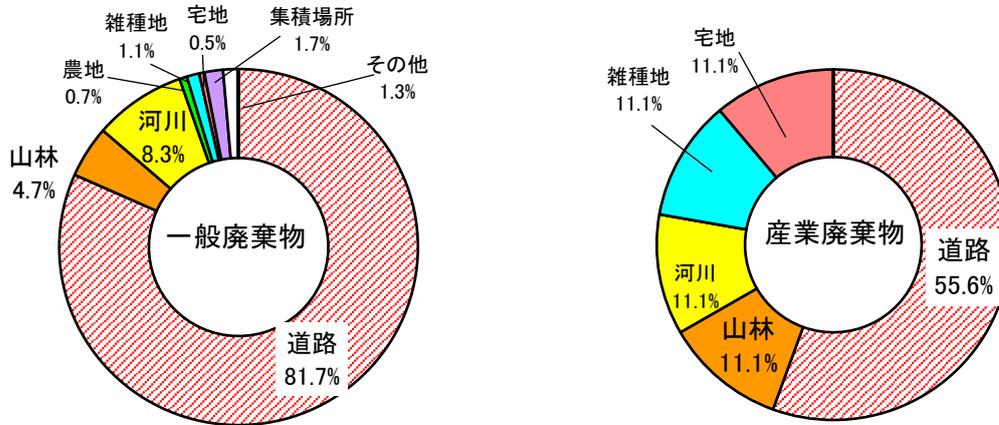
### 4 不法投棄の月別状況

春と秋に多く発見されています。冬は雪に覆われるため発見が少なくなります。



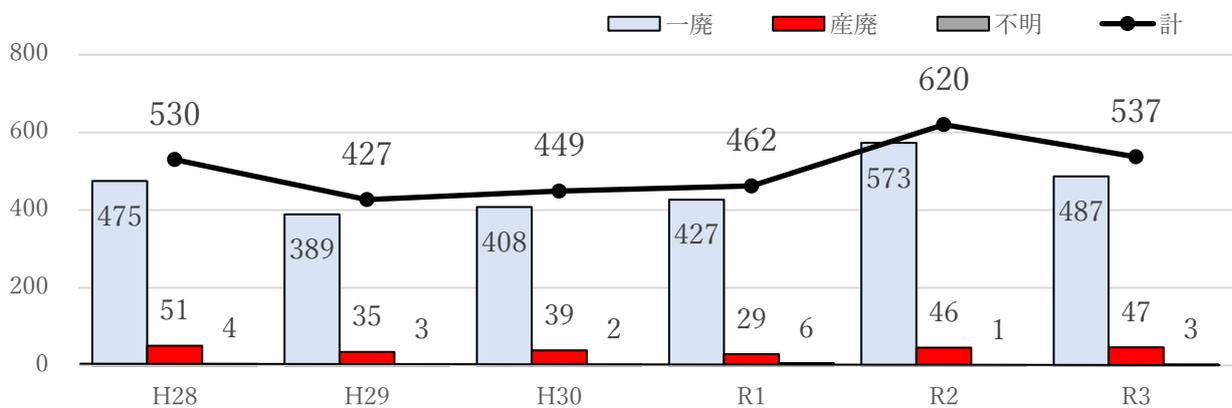
## 5 不法投棄の発見場所

不法投棄は、人目につきにくい道路、山林、河川などで多く発見されています。



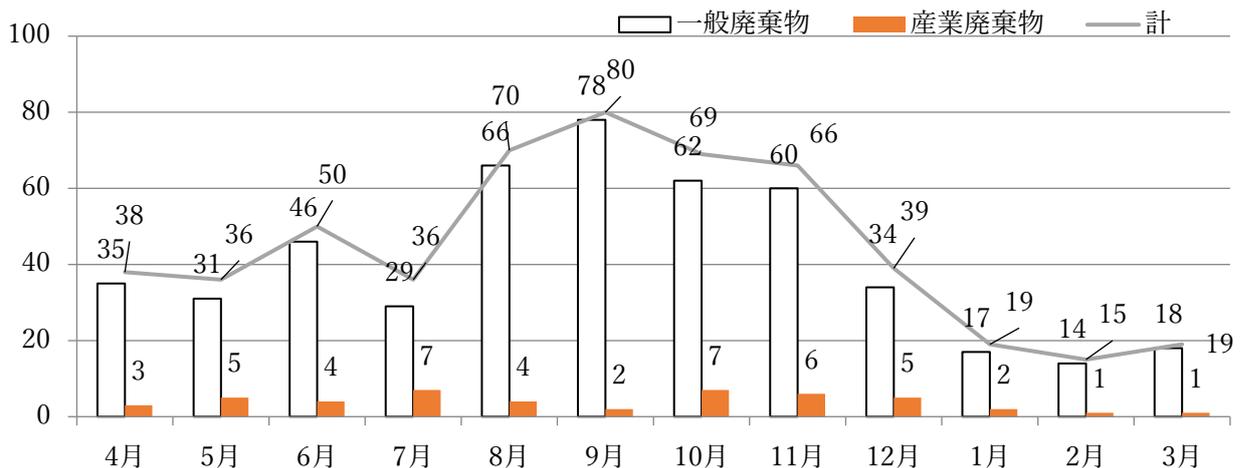
## 6 野外焼却の発見状況

令和3年度の野外焼却の全発見数537件のうち、一般廃棄物の野外焼却は487件であり、全体の約90%を占めています。



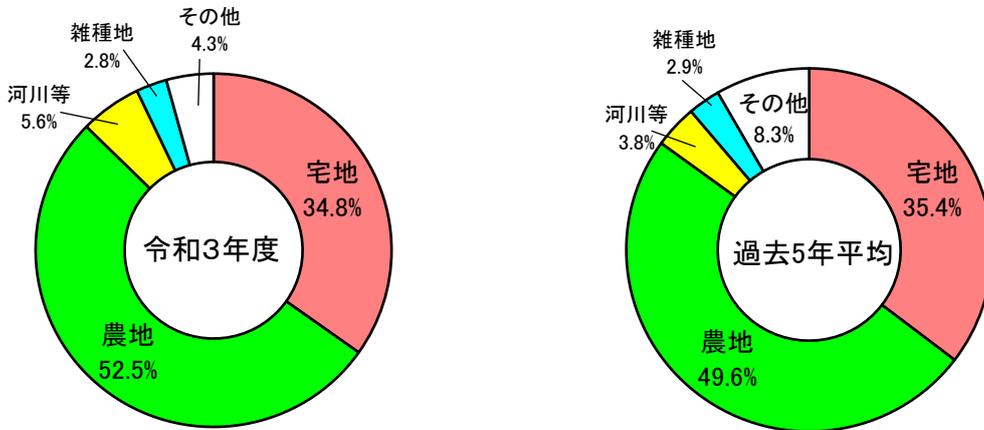
## 7 野外焼却の月別状況

野外焼却は、冬は発見件数が少なくなっています。



## 8 野外焼却の発見場所

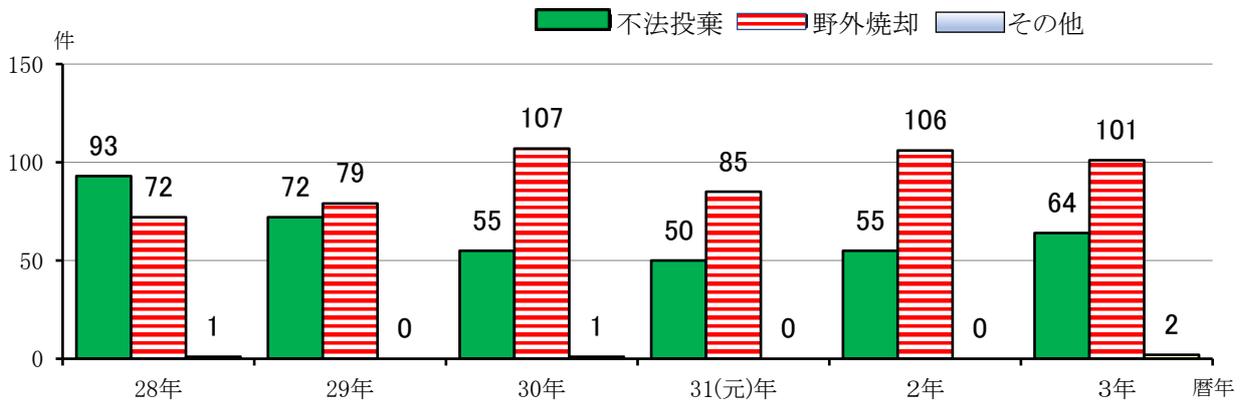
発見場所としては宅地及び農地で全体の約8割を占めています。



## 9 警察において検挙した廃棄物処理法違反件数

(資料提供：長野県警察)

近年、野外焼却に係る検挙件数が増加傾向にあります。



## 10 廃棄物処理法違反の罰則

不法投棄や野外焼却は、自然環境や生活環境に悪影響を及ぼす恐れがあります。原因者は撤去を求められるとともに、重い刑罰が科せられます。

### 刑事処分

- (個人) 5年以下の懲役若しくは1,000万円以下の罰金、又はこの併科
- (法人) 3億円以下の罰金